

CASIO®**3426 * JA****取扱説明書****3426**

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取
扱いただきますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長**●ストップウォッチ**

球技などの試合時間計測に便利な、2 段表示のストップウォッチです。

●プリセットタイマー

9 つのプリセット時間から 1 つを選んでセットし、1 秒単位で減算計測が
できます。

●タイマー

インターバル計測用に、9 つまで時間をセットして（それぞれ 5 秒単位で
59 分 55 秒までセット可能）、順番に減算計測ができます。

●ワールドタイム

世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻を表示させることができます。

●アラーム・時報

任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時（00 分）に時報を鳴らす
ことができます。

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



注意

ご使用にあたって

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	1	タイマーの使い方	16
液晶表示について	7	タイマー方法について	16
操作のしくみと表示の見方	8	タイマーのセット	16
ライト点灯について	10	タイマーの使い方 (減算計測のしかた)	19
ボタンを押して点灯させる	10	ワールドタイムの使い方	20
操作音について	10	都市を選ぶ	20
操作音のオン/オフ設定	10	サマータイム (DST) について	20
ストップウォッチの使い方	11	サマータイムの設定	20
計測リセット状態について	11	UTC (協定世界時) とタイムゾーン	21
計測のしかた	11	都市コード一覧	22
試合での計測のしかた	12	アラーム・時報の使い方	23
試合時間のセット	13	アラーム時刻のセット	23
プリセットタイマーの使い方	14	アラーム・時報のオン/オフ設定	24
タイマー方法について	14	鳴っている電子音を止めるには	24
タイマー方法の切替	14	モニターアラーム	24
タイマー時間のセット	15	時刻・カレンダーの合わせ方	25
タイマーの使い方 (減算計測のしかた)	15	時刻・カレンダーのセット	
		(ホームタイムの設定)	25

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。

- 1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

白地に黒



黒地に白



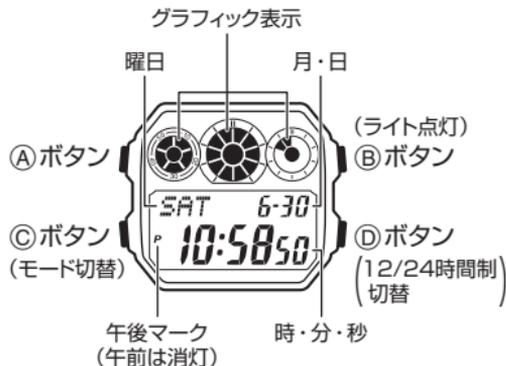
本書は「白地に黒」のタイプのイラストで説明します。

製品仕様.....	27
ご使用上の注意.....	30
お手入れについて.....	33
電池交換について.....	34
金属バンドの駒詰めについて.....	34

操作のしくみと表示の見方

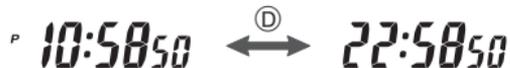
- ◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
- アラームモードのまま 2～3 分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



● 12/24 時間制切替え

時刻モードのとき、(D) ボタンを押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。



● 曜日の見方

SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水
THU:木 FRI:金 SAT:土

- グラフィック表示は現在の分・秒に連動して点灯/消灯を繰り返します。

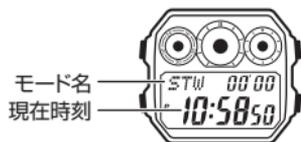
アラームモード

現在時刻
(午後マーク“P”は点灯しません)



P-23

ストップウォッチモード

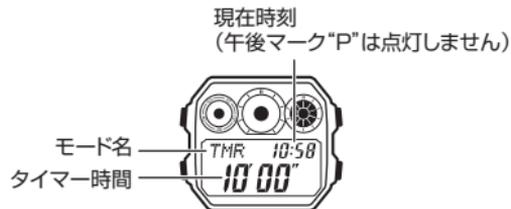


モード名
現在時刻

P-11

Ⓒ

プリセットタイマーモード

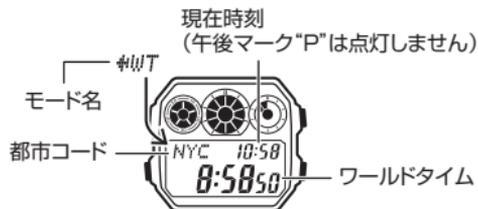


モード名
タイマー時間

P-14

Ⓒ

ワールドタイムモード



モード名
都市コード

ワールドタイム

P-20

Ⓒ

タイマーモード



タイマー番号
タイマー時間

P-16

Ⓒ

ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。

■ ボタンを押して点灯させる

セット中（表示点滅）以外の
どのモードのときでも

⑧ ボタンを押します

⇒ ⑧ ボタンを押すとライトが
約 1.5 秒間点灯します。



■ ご注意

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作音やアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

操作音について

モード切替時などに鳴る操作音のオン／オフを切り替える
ことができます。

■ 操作音のオン／オフ設定

セット中（表示点滅）以外の
どのモードのときでも

⑨ ボタンを約 3 秒間押しま
す

⇒ 確認音が鳴り、操作音のオン／
オフが切り替わります。

- ⑨ ボタンを押したときに、
モードも切り替わりますの
で、ご注意ください。
- 操作音がオフでも、アラーム
音、時報音、タイマーのタイ
ムアップ音、ストップウォッ
チのターゲットタイム報音
は鳴ります。



操作音がオフのときに
点灯します

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは、1秒単位で、上段表示では59分59秒（60分計）まで、下段表示では99分59秒（100分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測リセット状態について

計測をスタートする前の状態です。下段に現在時刻が表示されるので、計測スタートのタイミングをとるのに便利です。



- 計測をスタートすると、現在時刻表示はストップウォッチ表示に切り替わります。

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

■計測のしかた

ストップウォッチモードのとき

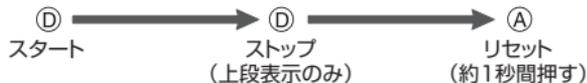
① ボタンを押します

- ① ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。
- 計測中に ① ボタンを押すと、上段表示は止まりますが、下段表示は止まらずに計測を続けます。
- 計測値に連動してグラフィック表示が点灯/消灯します。



- ① ボタンで上段の計測をストップしてから (A) ボタンを約1秒間押すと、計測値が0に戻ります (リセット)。
計測終了後はリセットしてください。

● 通常計測



<積算計測>

ストップ後リセットせずに ① ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を続けます。

■ 試合での計測のしかた

A. 試合開始 (計測開始)

時刻表示が試合開始時刻になったら、① ボタンを押します

→ 上段、下段とも、計測が始まります。



B. 試合が中断したとき (計測ストップ / 再スタート)

1. 計測をストップする

① ボタンを押します

- 上段の計測がストップします。
- 下段の計測はストップしません。



2. 計測を再スタートする

計測ストップ状態で、① ボタンを押します

→ 上段の計測が再スタートします。



- 計測をストップしたとき、下段には試合開始時点からの経過時間が表示されています。「下段の時間と上段の時間の差」が中断時間の合計 (ロスタイム / インジャリータイム) となります。

C. 試合終了 (計測ストップ)

① ボタンを押します

(リセット)

- 上段の計測がストップします。
- 下段の計測はストップしません。



- 計測ストップ中 ① ボタンを約 1 秒間押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。
- 「試合時間」をセットすると (13 ページ)、下段の計測時間がそのセットした時間になったときに、10 秒間の電子音でお知らせします (ターゲットタイム報音)。

■ 試合時間のセット

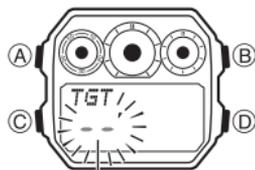
1. セット状態にする

ストップウォッチモードのとき

**① ボタンを約 1 秒間押し
ます**

⇒「試合時間」が点滅します。

- 計測ストップ状態（上段の計測がストップした状態）や計測中からはセット状態に切り替わりません。このようなときは、リセット(12ページ)してから、もう一度 **①** ボタンを約 1 秒間押しとセット状態になります。



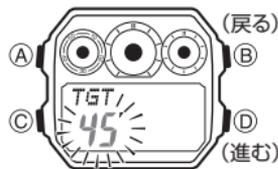
試合時間

2. 「試合時間」をセットする

**② または ④ ボタンを
押します**

⇒ **④** ボタンを押すごとに 1 分ずつ進み、**②** ボタンを押すごとに戻ります。

- ④**・**②** ボタンとも押し続けると早送りができます。
- 「試合時間」は 1 分単位で、1 分 (01') から 60 分 (60') までセットできます。「試合時間」をセットしないときは、「—」を表示させます。



3. セットを終わる

① ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

- 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

プリセットタイマーの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、プリセットタイマーモードにします。

あらかじめ設定されているタイマー時間を選んでセットして、1 秒単位で減算計測ができます。

- タイマー時間は以下の時間から選ぶことができます。
10分 12分 15分 20分 25分
30分 35分 40分 45分

■ タイマー方法について

本機のプリセットタイマーには以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

- タイマー方法の選び方については、「タイマー方法の切替」をご覧ください。

● リピートタイマー（経過時間自動計測）

タイムアップすると、自動的に経過時間を計測します。

- 経過時間が 60 分になると自動的に計測を中止し、計測前の表示に戻ります（タイマー時間にリセット）。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測します。

タイムアップ音について

セットした時間を経過すると、10 秒間の電子音でタイムアップを知らせます。（電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。）

■ タイマー方法の切替

プリセットタイマーモードのとき

◎ ボタンを約 1 秒間押します

→ ◎ ボタンを約 1 秒間押すごとに、リピートタイマーとオートリピートタイマーが切り替わります。

- オートリピートタイマーにすると、オートリピートマークが点灯し、計測回数を表示します。
- タイマー方法を切り替えるとタイマー時間も切り替わりますので、ご注意ください。タイマー方法を切り替えてから、タイマー時刻をセットしてください。



■ タイマー時間のセット

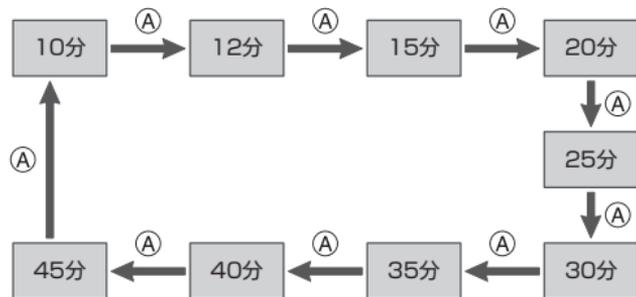
プリセットタイマーモードのとき

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに、タイマー時間が以下の順で切り替わります。セットしたいタイマー時間を選びます。



タイマー時間



■ タイマーの使い方 (減算計測のしかた)

プリセットタイマーモードのとき

② ボタンを押します

→ ② ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

- 計測は 1 秒単位です。
- 計測値に連動してグラフィック表示が点灯/消灯します。

(リセット)



(スタート/ストップ)

分秒

- ② ボタンでストップ後、もう一度 ② ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。
- 経過時間計測中に ② ボタンを押すと、計測がストップします。ストップ後 ① ボタンを押すと、タイマー時間表示に戻ります。
- オートリピートタイマーで、セットしたタイマー時間を過ぎると、繰り返し計測します。なお、100 回以上計測を繰り返した場合は、計測回数は「-」と表示されます。

タイマーの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

最大で9つのタイマー時間をセットし、順番に次々と計測することができるインターバル計測用のタイマーです。「3分走って1分休憩するトレーニングを繰り返すとき」や「前半を45分、休憩を15分、後半を45分の競技時間を管理する」ときに便利です。

- タイマー時間は5秒単位で59分55秒までセットすることができ、1秒単位で減算計測をします。

■ タイマー方法について

本機のタイマーには以下の2種類があり、使い方に合わせて好きな方を選ぶことができます。

- タイマー方法の選び方については、「タイマーのセット」をご覧ください。

● リピートタイマー（繰り返し計測）

セットしたすべてのタイマー時間が順番にタイムアップし、最後のタイマー時間がタイムアップすると、計測がストップします。（“END”を表示してから、一番目のタイマー時間を表示します。）

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

セットしたすべてのタイマー時間が順番にタイムアップし、最後のタイマー時間がタイムアップしても、計測がストップするまで自動的に一番目のタイマー時間に戻り、繰り返し計測します。

タイムアップ音について

- それぞれのタイマー時間を経過するたびに、1秒間の電子音でタイムアップを知らせます。
- すべてのタイマー時間の計測を終了すると、5秒間の電子音でタイムアップを知らせます。（オートリピートタイマーで、次のタイマーが10秒以下にセットされているときは1秒間となります。）
- 電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモード（リセット状態）
のとき

◎ ボタンを約1秒間押し
ます

→「タイマー番号」が点滅し
ます。

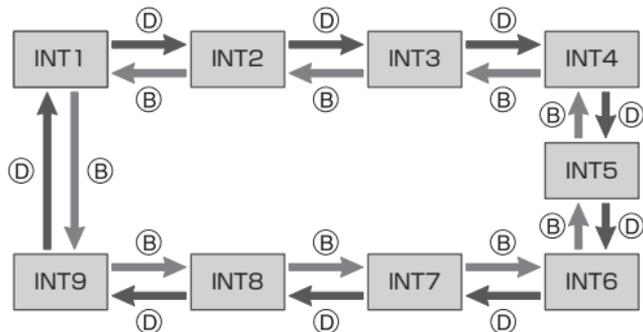
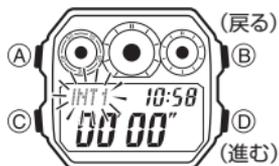


- 計測ストップ状態や計測中からはセット状態に切り替わりません。このようなときは、一番目のタイマー時間にリセット（19ページ）してから、**A** ボタンを約1秒間押しとセット状態になります。

2. 「タイマー番号」を選ぶ

D または **B** ボタンを押します

→ **D** ボタンを押すごとにタイマー番号が1つずつ進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります。



3. セット箇所を選ぶ

C ボタンを押します

→ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



タイマー時間(分)

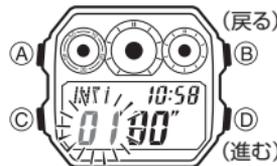


4. 点滅箇所をセットする

「タイマー時間(分)」をセットするときは…

D または **B** ボタンを押します

→ **D** ボタンを押すごとに1分ずつ進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります。



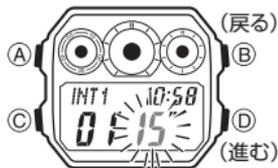
- D**・**B** ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- タイマー時間(分)は00～59分までセットできます。

「タイマー時間 (秒)」をセットするときは…

① または ② ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに5秒ずつ進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

- ①・② ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- タイマー時間 (秒) は 00 ~ 55 秒までセットできます。



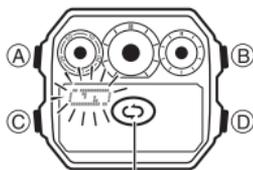
タイマー時間 (秒)

「タイマー方法」を選ぶときは…

③ ボタンを押します

→ ③ ボタンを押すごとにリピータイマー「→」とオートリピータイマー「→」が切り替わります。

- オートリピータイマーにすると、オートリピーマークが点灯します。
- タイマー方法は、タイマー番号ごとには選べません。タイマー時間をセットした「すべてのタイマーの計測を繰り返すかどうか」の設定になります。



オートリピーマーク

手順 3. ~ 4. の操作を繰り返して、設定したいすべてのタイマー時間をセットします。

- タイマー時間が「00' 00"」になっているタイマーは、計測をしません。

5. セットを終わる

④ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

- 点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。
- オートリピータイマーにしたときは、計測回数を表示します。



計測回数

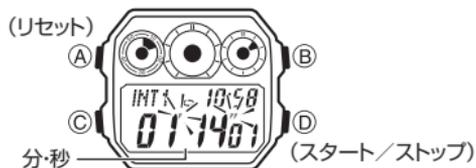
■ タイマーの使い方 (減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

- 計測は 1 秒単位です。
- 計測値に連動してグラフィック表示が点灯/消灯します。



- 計測ストップ後 (A) ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (一番目のタイマー時間にリセット)。
- (D) ボタンでストップ後、もう一度 (D) ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。
- オートリピートタイマーで、セットしたすべてのタイマー時間が順番にタイムアップし、最後のタイマー時間がタイムアップすると、繰り返し計測をします。
なお、100 回以上計測を繰り返した場合は、計測回数は「—」と表示されます。

ワールドタイムの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻を簡単に知ることができます。

- ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
- 時刻モードで基本時刻（ホームタイム）およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

■ 都市を選ぶ

ワールドタイムモードのとき

◎ ボタンを押します

- ◎ ボタンを押すことに都市コードが切り替わります。
- 押し続けると早送りします。



■ サマータイム（DST）について

サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの設定

準備：ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

◎ ボタンを約 1 秒間押し
ます

→ DST マークが点灯して、サマータイム設定になります。

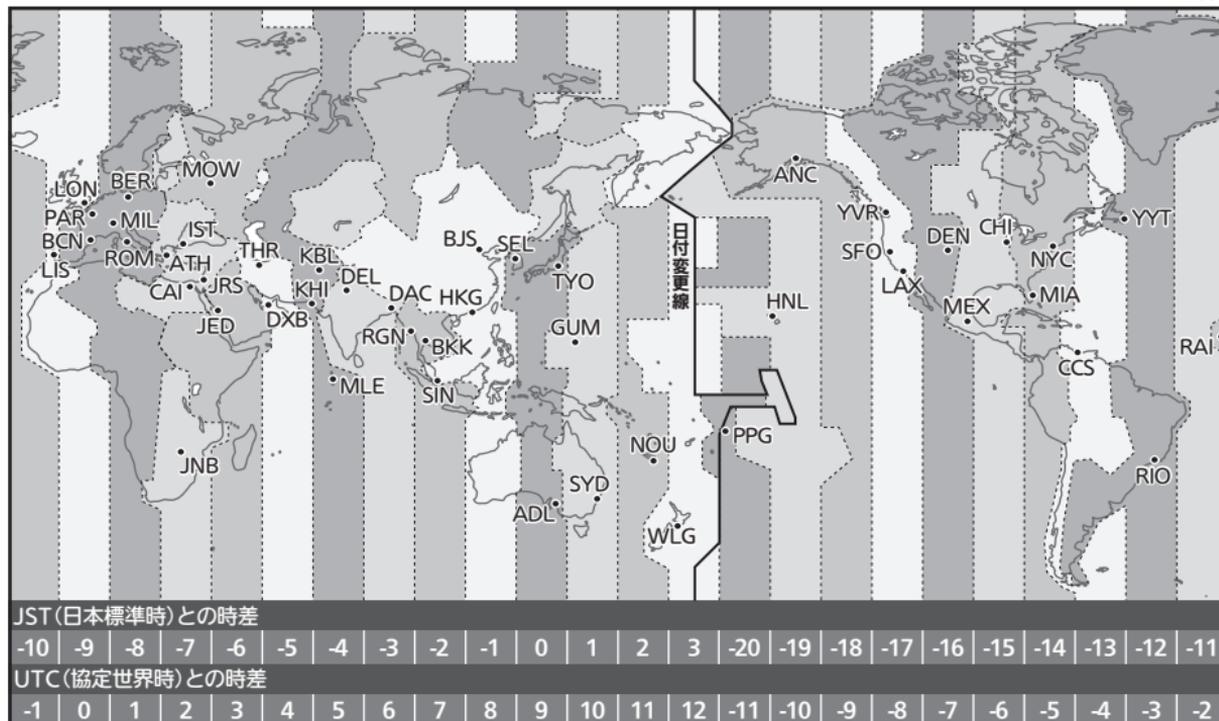
- サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より 1 時間早まります。
- DST マークが点灯しているときに、◎ ボタンを約 1 秒間押しすと通常の時刻に戻ります。
- 都市ごとにサマータイムの設定ができます。
- ホームタイムで設定している都市のサマータイムをオンにすると、ホームタイム（基本時刻）のサマータイムもオンになります。



■ UTC (協定世界時) とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。

TZ-003



■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	- 11	パゴパゴ	LON	+ 0	ロンドン	KHI	+ 5	カラチ
HNL	- 10	ホノルル	BCN	+ 1	バルセロナ	MLE	+ 5	マーレ
ANC	- 9	アンカレジ	PAR	+ 1	パリ	DEL	+ 5.5	デリー
YVR	- 8	バンクーバー	MIL	+ 1	ミラノ	DAC	+ 6	ダッカ
SFO	- 8	サンフランシスコ	ROM	+ 1	ローマ	RGN	+ 6.5	ヤンゴン
LAX	- 8	ロサンゼルス	BER	+ 1	ベルリン	BKK	+ 7	バンコク
DEN	- 7	デンバー	ATH	+ 2	アテネ	SIN	+ 8	シンガポール
MEX	- 6	メキシコシティ	JNB	+ 2	ヨハネスブルグ	HKG	+ 8	香港
CHI	- 6	シカゴ	IST	+ 2	イスタンブール	BJS	+ 8	北京
MIA	- 5	マイアミ	CAI	+ 2	カイロ	SEL	+ 9	ソウル
NYC	- 5	ニューヨーク	JRS	+ 2	エルサレム	TYO	+ 9	東京
CCS	- 4	カラカス	MOW	+ 3	モスクワ	ADL	+ 9.5	アデレード
YYT	- 3.5	セントジョンズ	JED	+ 3	ジェッダ	GUM	+ 10	グアム
RIO	- 3	リオデジャネイロ	THR	+ 3.5	テヘラン	SYD	+ 10	シドニー
RAI	- 1	プライア	DXB	+ 4	ドバイ	NOU	+ 11	ヌーメア
LIS	+ 0	リスボン	KBL	+ 4.5	カブール	WLG	+ 12	ウェリントン

- この表は 2017 年 1 月現在作成のものです。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時 (UTC) を基準にしています。

アラーム・時報の使い方

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

◎ ボタンを約1秒間押し
ます

- ⇒「時」が点滅します。
- アラームマークが点灯して、自動的にアラームがオンになります。

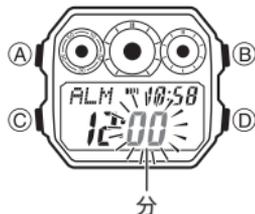
アラームマーク



2. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

- ⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇄「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所をセットする

◎ または ◎ ボタンを押します

- ⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。
- ◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順2～3の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

4. セットを終わる

◎ ボタンを押します

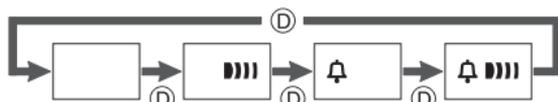
- ⇒点滅が止まり、セット完了です。
- 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のオン／オフ設定

アラームモードのとき

④ ボタンを押します

- ④ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
- それぞれのマークが点灯しているときがオンとなり、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム	鳴らない	鳴る	鳴らない	鳴る
時報	鳴らない	鳴らない	鳴る	鳴る

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、④ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

時刻・カレンダーの合わせ方

時刻モードで操作します。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■ 時刻・カレンダーのセット (ホームタイムの設定)

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押します

→「秒」が点滅します。



2. 秒合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

- 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。



3. サマータイム (DST) のオン/オフを選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、
Ⓓ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとにオンとオフが切り替わります。

- OFF (オフ) 通常時間
On (オン) サマータイム (夏時間)
- サマータイム(DST)については20ページをご覧ください。



4. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

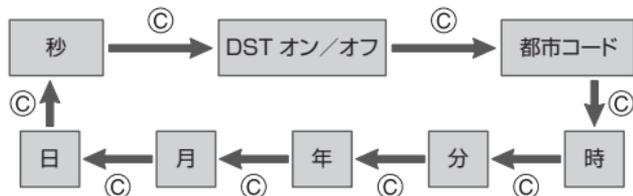
- 22ページ「都市コード一覧」をご覧ください。
- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
- ホームタイム都市を設定してから、時刻をセットしてください。



5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. ③ ボタンを押します

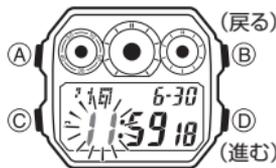
→ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



b. ④ または ② ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに1つずつ進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

- ④・② ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順 a. ~ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

- 「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。
- 「年」は 2000 年 ~ 2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

6. セットを終わる

① ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

- 点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

製品仕様

- 精度：平均月差± 30 秒
- 基本機能：時・分・秒、
午前／午後 (P) / 24 時間制表示、
月・日・曜日、
フルオートカレンダー (2000 ~
2099 年)
- ストップウォッチ機能：計測単位 1 秒
計測範囲
上段：59 分 59 秒 (60 分計)
下段：99 分 59 秒 (100 分計)
計測機能 通常計測、積算計測
ターゲットタイム 報知
機能
- プリセットタイマー機能：プリセット時間
10 分、12 分、15 分、20 分、
25 分、30 分、35 分、40 分、
45 分
計測単位 1 秒
計測範囲 プリセット時間によるリ
ピートタイマー／オートリピートタイ
マー切替
- タイマー機能：タイマー数 9 セット設定可能
セット単位 5 秒
計測単位 1 秒
セット範囲 タイマーごとに
5 秒～ 59 分 55 秒
リピートタイマー／オートリピートタイ
マー切替
- ワールドタイム機能：世界 29 タイムゾーン (48 都市)
の時刻を表示、サマータイム設定
機能
- アラーム機能：時刻アラーム
セット単位 時・分
電子音 10 秒間
時報 毎正時に電子音で報知
- その他：自動復帰機能、12/24 時間制表
示切替、LED ライト、モニターアラ
ーム、操作音オン／オフ切替
- 使用電池：CR2025 1 個 (電池別途販売)

電池寿命：約10年

（ライト点灯 1.5 秒/日、アラーム報音 10 秒/日、ストップウォッチ計測（ターゲットタイム報音 10 秒）1 回/週、プリセットタイマー計測（タイムアップ報音 10 秒）1 回/週、タイマー計測（途中タイムアップ報音 1 秒を 8 回、最終タイムアップ報音 5 秒を 1 回）1 回/週使用した場合

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

memo

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水 「BAR」表記無し	日常生活用強化防水		
			5気圧防水 5BAR	10気圧防水 10BAR	20気圧防水 20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューバダイビング (素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防水構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうすやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするとともに、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態での水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。

- とくどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押ししたりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただいております。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

